

第1号議案 平成22年度 事業報告 承認の件

平成23年3月11日に起こった東日本大震災はマグニチュード9.0という大地震が起こり、岩手県から宮城県及び福島県にかけて200Kmの沿岸部に大津波が押し寄せた。死者と行方不明者は2万7千人を超し、地域は瓦礫の山と化した。また地震と津波が福島第一原発に襲いかかり、原子炉から放射線が漏れ出し、安全神話が崩れ去った。まさに日本国が沈没しそうな出来事が起こった。この度の東日本大震災で親族、友人、知人などが被災された会員のみなさまには心からお見舞い申し上げます。そして被災された地域や皆様の一日も早い復興とご健康の回復をお祈りしております。

日臨技では、高田会長にバトンタッチされ1年が経過し色々と改変が進みつつある。会費徴収手続きの変更、臨床検査技師賠償保険加入、支部化組織の再構築、全国学会の会計手続きの変更、日臨技総研の設立、会誌の発行回数の変更(12回から6回)などである。去る3月26日(土)に開催された平成22年度第2回定期総会では一般法人移行に向け定款変更の議案が提出予定されていたが、議決の定足数(正会員の4分の3以上)に達しなかったため取り下げとなり5月14日に開催される平成23年度第1回定期総会へ持ち越された。

京臨技学術活動は各研究班を中心に研修会が企画され、計画通り開催された。(詳細報告は各研究班報告を参照下さい。)

一昨年前に京臨技が担当した第49回近畿医学検査学会優秀発表を第50回近畿医学検査学会(奈臨技担当12月11日~12日)において学会賞(柳田絵美衣氏:神戸大学医学部付属病院)、学術奨励賞(藤原恵夢氏:ファルコバイオシステムズ総合研究所、鈴木加奈子氏:京都大学医学部付属病院検査部)を表彰した。

以下は研修会以外の事業

- ・平成22年度医師会・京臨技合同学術研修会を7月3日メルパルク京都において「結核」について京都大学医学部附属病院の一山智教授と検査部の樋口武史技師にご講演頂いた。
- ・一般検査分野のスキルアップ研修会(日臨技認定センター承認研修会)を10月9日~10日に京都大学医学部人間健康科学科棟にて開催した。内容は赤血球円柱と赤血球形態、糸球体、尿細管の病態と尿検査、スライドカンファレンス。(身近な寄生虫)
- ・第37回くらしと健康展(9月18日~19日京都府総合見本市会館(ハルスプラザ)に主催参加し、血糖検査を実施した。1,216名の方が利用された。実務委員は2日間で14名が出務した。
- ・京都府医療推進協議会主催イベント9月23日京都市勧業会館(みやこメッセ)に共催参加した。簡易認知度検査、簡易ヘモグロビン検査、骨密度検査等の体験検査を実施し延べ700名の方の利用があった。また乳癌撲滅啓発キャンペーンポスター展示や検診を薦める冊子を配布し同時に行った。
- ・第12回新入・転入会員研修会を9月2日ホテル京阪京都で開催し57名の参加であった。
- ・第2回京都臨床化学サマー研修会を9月5日京都大学医学部人間健康科学科棟にて開催した。内容は、化学の基礎(試薬の調整:濃度計算、モル吸光計数)、寄生虫からみた古代人の食生活(糖尿病の発生機序)、慢性腎臓病と腎機能(eGFR)
- ・今年度より日臨技による検査室精度保証施設認証制度が開始され、京都府立医科大学附属病院、京都市立病院、京都第二赤十字病院の3施設の申し込みがあり、京臨技精度保証施設認証委員会を開催し書類審査後日臨技に申請し、3施設が認証された。
- ・第6回施設責任者会議を3月12日に精度管理合同報告会の同日にランチョン形式で開催した。
- ・第26回京臨技精度管理合同報告会を3月12日に京都府立医科大学基礎医学学舎にて開催した。今年度の合同報告会は施設責任者会議とコラボレーションし多数の参加者であった。
- ・第21回京臨技北部学術発表会を1月29日綾部市ITビルにて開催した。市民公開講座として京都大学の櫻井英俊先生に「iPS細胞研究の最前線と臨床応用」と題してご講演いただいた。

1. 啓発および保健衛生事業

1-1 第37回くらしと健康展

今年度の「くらしと健康展」は、京都府総合見本市会館「ハルスプラザ」において9月18日(土)~19日(日)の二日間に渡り開催された。京都府臨床検査技師会は昨年度同様「血糖測定」を担当した。今回の実務委員は会員ボランティアと各研究班の協力も得て、18日が7名、19日が8名の体制で、

(10)

延べ15名が参加しておこなった。

事業名： 第 37 回くらしと健康展
日 時： 平成 22 年 9 月 18 日（土）～19 日（日）
場 所： 京都府総合見本市会館（パルスプラザ）
参加者： 1,216 名
内 容： 血糖測定

1-2 京都府医療推進協議会主催イベント

“もう一度考えよう 日本の医療”というテーマで行われたイベントで、検査体験（簡易血糖測定、簡易ヘモグロビン測定、骨密度測定、簡易認知度検査）とパンフレットを用いた一般市民への検査内容説明などを行った。骨密度測定は 1 台での対応を予定していたが、行列が出来るほどの関心度で、急遽 2 台体制をとり検査を施行した。またこれらとともに、“乳癌検診を受けましょう”（日臨技公益事業）のポスター展示、健診推進用グッズの配布なども行った。実務委員として京臨技会員からのボランティア参加者の募集を行い4名の参加があった。当日は 5 名の理事と合計 9 名体制で運営した。当日は天候も悪く来場者や京臨技ブースへの参加者が少ないのではないかと考えられたが、開場とともに行列が出来るほどの盛況振りであった。これからも臨床検査技師の知名度のアップや臨床検査技師が京都府の医療推進の一躍を担っていけるように、京臨技公益活動の一つとして、イベント継続参加を考えていきたい。

事業名： 平成 22 年度医療推進協議会事業
日 時： 平成 22 年 9 月 23 日（木）
場 所： 京都市勧業会館「みやこメッセ」1 階第 2 展示場（A.B 面）
主 題： もう一度考えよう 日本の医療
内 容： 京臨技 検査体験コーナー 検査数合計 694 名
簡易認知度検査 70 名
簡易ヘモグロビン測定（貧血のチェック） 292 名
簡易血糖検査 198 名
骨密度検査 134 名
協賛企業： HORIBA、シスメックス、日本光電関西、栄研化学、アボットジャパン、積水メディカル、テルモ、シーメンス、ロシュ、オーソ、三菱化学メディエンス、アークレイ、フィリップスレスピロニクス、テイジン、日本メドトロニック（順不同）

1-3 エイズ予防啓発活動

エイズ撲滅キャンペーンを実施中であることをアピールしながら、若いカップルなど若年層をターゲットとして予防啓発活動を実施した。

日 時： 平成 22 年 12 月 10 日（金）18:00～19:00
場 所： 四条河原町周辺（旧阪急百貨店前）
主 題： エイズ予防啓発活動
参加者： 16 名
内 容： エイズ予防啓発グッズ（コンドームなど）の街頭配布

1-4 生活習慣病予防啓発事業

1) 子宮頸がん予防啓発活動

平成22年4月9日（金曜日）19:00より20:30まで、四条河原町交差点を中心に、子宮頸がん検診受診促進のための啓発活動として、NPO法人子宮頸がんを考える会から提供されたチラシとハープの種の入った袋を、主に若年女性に配布しました。当日は、子宮がん患者の会の皆様、日本臨床細胞学会京都府支部細胞検査士部会、細胞分野以外の臨床検査技師会員の方々も多数ご参加頂き、総勢20名で子宮頸がん検診受診促進のための啓発活動を行いました。

日 時： 平成22年4月9日（金）19:00～20:30
場 所： 四条河原町交差点付近
内 容： 子宮頸がん検診受診促進のための街頭宣伝活動
共催等： 日本臨床細胞学会京都府支部細胞検査士部会

参加者：20(会員:13)人

2) 乳癌撲滅キャンペーン

医療推進イベント会場の「みやこめッセ」において、乳がん検診のポスター掲示、検診をすすめる冊子や啓発グッズの配布を行なうと同時に検診で行われる様々な検査の説明も行なった。また、乳癌検診の重要性を広く呼びかけ、乳癌検診の受診率の向上と啓蒙運動に積極的に取り組んだ。当日、乳幼児からお年寄りまで様々な年齢層の府民の方々が多数、イベントに参加されました。若年～壮年の女性を中心に、啓発冊子や京臨技で購入した啓発グッズの配布を行ない、乳癌検診の受診率の向上と啓蒙運動に積極的に取り組んだ。

事業名：乳癌撲滅キャンペーン

日 時：平成 22 年 9 月 23 日(木)

場 所：京都市勧業会館(みやこメッセ)

内 容：啓発冊子や啓発グッズの配布

2. 研究・研修会事業

2-1 学術研究班

研修会・講演会・実技講習会を 79 回(参加者数は、2,459 人(正会員;2,173 人)開催しました。

A. 生理検査研究班

〈総括〉

『今年度も A 班(波形)B 班(画像)2 グループに分けた構成によって、より細分化した講習会を開催し、会員のニーズを得られるよう運用した。A・B 班合わせて 21 回の研修会を企画し、771 名(正会員 712 名)の方々に参加して頂いた。その多くが予算の関係から限定された研修会場で行わなければならない、場所確保に於いて、班員ならびに関係者に苦勞をかけた側面がある。また、今年度は A・B 班とも実技講習会に於いて高い参加率と評価が得られたのも特徴である。参加人数の関係から一人当たりには十分な時間がかけられず、もう少し時間をかけてレクチャーしてもらいたいとの意見も出ていたので、次年度は小人数制の講習会を企画するなど工夫していきたい。精度管理事業では、研修会で紹介した症例や基本的な問題を重点に今年度の目標に添って幅広い領域から出題した。問題作成に於いて、趣旨が曖昧な文言や誤字があることが判明して、回答者にご迷惑をかけた等、諸問題があったことをお詫びするとともに、今後は二重、三重の check 方式を取り入れて問題作成していきたい。』

1)【研修会】腹部超音波研修会

日 時：平成 22 年 4 月 24 日(土) 14:30～16:30

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚室

主 題：消化管の系統的走査法と上部消化管疾患

講 師：綿貫 裕 先生(姫路赤十字病院)

参加者：55(会員:53)人

2)【研修会】心電図講座

日 時：平成 22 年 5 月 12 日(火) 18:30～20:00

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題：“ペースメーカーの基本的な作動について”

講 師：白井 健一郎 氏(日本メドトロニック株式会社)

参加者：21(会員:17)人

3)【研修会】心臓超音波研修会

日 時：平成 22 年 6 月 26 日(土) 15:00～17:00

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題：心エコーファンダメンタルコース

副 題：～症例に適応した心エコーの役割～

講 師：米田 智也 技師(京都大学医学部附属病院検査部)

参加者：38(会員:35)人

4)【研修会】婦人科領域超音波研修会

日 時: 平成 22 年 7 月 3 日 (土) 15:00~17:00
会 場: 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
主 題: 明日から使える婦人科領域の描出テクニックと着眼ポイント
講 師: 岩崎 昭宏 先生 (明石市立市民病院 臨床検査科)
参加者: 57(会員:51)人

5)【実技講習会】超音波実技講習会

日 時: 平成 22 年 8 月 21 日 (土) 14:00~17:30
会 場: 京都保健衛生専門学校 5F 体育室
講 師: <心臓・血管領域>
鮎川 宏之 技師 (医仁会武田総合病院)
辻 真一朗 技師 (京都桂病院)
今川 昇 技師 (京都工場保健会診療所)
米田 智也 技師 (京都大学医学部附属病院)
増田 信弥 技師 (京都民医連中央病院)
坂井 貴光 技師 (京都府立医科大学附属病院)
<腹部領域>
日比野 みゆき 技師 (東山武田病院)
荻野 和大 技師 (三菱京都病院)
大森 崇央 技師 (田辺中央病院)
北野 智美 技師 (京都第二赤十字病院)
参加者: 60(会員:45)人

6)【研修会】MRI 研修会

日 時: 平成 22 年 9 月 18 日 (土) 15:00~16:30
会 場: 京都保健衛生専門学校 1F 視聴覚室
主 題: 超音波診断に MRI 検査
副 題: ~MRI から診た肝腫瘍像~
講 師: 本郷 隆治 先生 (京都桂病院 放射線科)
参加者: 29(会員:29)人

7)【研修会】心電図講座

日 時: 平成 22 年 7 月 15 日 (木) 18:30~20:00
会 場: 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
主 題: 心電図講座
1.心電計の基礎知識
2.不整脈を解いてみよう
講 師: 江島 昭彦 氏 (GE ヘルスケアジャパン株式会社)
参加者: 32(会員:28)人

8)【研修会】PSG 研修会

日 時: 平成 22 年 7 月 30 日 (金) 18:30~20:00
会 場: 京都大学医学部附属病院 第一臨床講堂
主 題: PSG 講座
講 師: 薄田 那津子 技師 (京都大学医学部附属病院 検査部)
参加者: 21(会員:21)人

9)【講演会】心臓超音波講演会

日 時: 平成 22 年 10 月 30 日 (土) 15:00~18:00
会 場: ハートンホテル京都 1 階伏見・宇治
主題 1: 機能性僧帽弁逆流とその周辺
講師 1: 山野 哲弘 医師 (京都府立医科大学附属病院循環器内科 助教)
主題 2: 腎生理機能の ABC—腎臓が障害をうける理由と心腎連関—
講師 2: 笠原 正登 医師 (京都大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科 特任講師)
参加者: 53(会員:43)人

10)【実技講習会】脳・神経検査実技講習会

日 時: 平成 22 年 10 月 2 日 (土) 10:00~16:00
会 場: 株式会社 三笑堂 本社プロセスセンター4F 上田ホール
主 題: 脳・神経検査講座 (午前: 所見を見つけよう・午後: ハンズオン)
講師 1: 梶 龍兒 先生 (徳島大学神経内科)
講師 2: 小山 真理 先生 (京都武田病院)
参加者: 41(会員:38)人

11)【講演会】心電図研修会

日 時: 平成 22 年 10 月 14 日 (木) 18:30~20:00
会 場: 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
主 題: 心電図講座 2 ペースメーカー心電図
講師 1: 山田 宣幸 先生 (三菱京都病院)
講師 2: 白井 健一郎 先生 (日本メトロニック株式会社)
参加者: 23(会員:23)人

12)【研修会】心電図研修会

日 時: 平成 22 年 11 月 18 日 (木) 18:30~20:00
会 場: 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
主 題: 心電図講座 2 ペースメーカー心電図
講師 1: 山田 宣幸 先生 (三菱京都病院)
講師 2: 白井 健一郎 先生 (日本メトロニック株式会社)
参加者: 36(会員:36)人

13)【研修会】心電図研修会

日 時: 平成 22 年 10 月 28 日 (木) 18:30~20:00
会 場: 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
主 題: 心電図講座“~心電図波形の成り立ちと心電図でわかる事~”
講 師: 柄本 敦典 氏 (フクダ電子株式会社 研修教育センター)
参加者: 50(会員:45)人

14)【研修会】超音波基礎研修会

日 時: 平成 23 年 1 月 15 日 (土) 15:00~17:00
会 場: 東芝メディカルシステムズ株式会社 会議室
主 題: 基礎、超音波物理に関する知識の習得と整理
講 師: 野見山 智生 先生 (東芝メディカルシステムズ株式会社)
参加者: 35(会員:32)人

15)【研修会】乳腺超音波研修会

日 時: 平成 23 年 1 月 29 日 (土) 15:00~16:30
会 場: 京都保健衛生専門学校 1F 102 教室
主 題: 乳腺エコーの基本走査
副 題: 見落とさない走査法
講 師: 松下 陽子 先生 (天理よろづ相談所病院 臨床病理部)
参加者: 54(会員:48)人

16)【講演会】肺機能研修会

日 時: 平成 22 年 12 月 8 日 (金) 18:30~20:00
会 場: 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
主 題: 肺機能講座 肺機能検査のコツ
講 師: 中野 敏夫 先生 (京都桂病院)
参加者: 23(会員:22)人

17)【研修会】心電図研修会

日 時: 平成 23 年 1 月 27 日 (木) 18:30~20:00
会 場: 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
主 題: 心電図講座「ホルター心電図のすべてがわかる」
講 師: 柄本 敦典 氏 (フクダ電子株式会社 研修教育センター)
参加者: 40(会員:38)人

- 18)【研修会】血管超音波研修会
日 時：平成 23 年 1 月 19 日 (水) 15:00～16:30
会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
主 題：バスキュラーアクセスの基礎を固めよう！
講 師：小林 大樹 技師 (大阪バスキュラーアクセス天満中村クリニック)
参加者：34(会員:30)人
- 19)【講演会】整形領域超音波研修会
日 時：平成 23 年 2 月 26 日 (土) 19:00～20:30
会 場：キャンパスプラザ京都 4 階第 4 講義室
主 題：整形領域の超音波診断 ～ライブデモンストレーション～
講 師：平林 伸治 先生 (大阪労災病院 リハビリテーション科)
参加者：26(会員:24)人
- 20)【研修会】心電図研修会
日 時：平成 23 年 2 月 23 日 (水) 18:30～20:00
会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
主 題：心電図講座「みんなで考えよう 12 誘導心電図」
講 師：小原 伸之 技師 (独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター)
参加者：33(会員:31)人
- 21)【研修会】心電図研修会
日 時：平成 23 年 3 月 3 日 (木) 18:30～20:00
会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
主 題：心電図講座 2 ペースメーカー心電図
講 師：山田 宣幸 技師 (三菱京都病院)
講 師：植谷 忠司 氏 (セント・ジュード・メディカル株式会社)
講 師：白井 健一郎 氏 (日本メトロニック株式会社)
参加者：17(会員:16)人
- 22)【講演会】肺機能検査講演会
日 時：平成 23 年 3 月 8 日 (火) 18:30～20:00
会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
主 題：肺機能講座 慢性閉塞性肺疾患(COPD)について～予防から最新治療～
講 師：室 繁郎 先生 (京都大学医学部附属病院 呼吸器科)
参加者：21(会員:21)人

B. 輸血検査研究班

<総括>

『安全で適正な輸血療法を遂行するにあたり、輸血検査部門において必要な知識及び技術などを習得します。』今年度は輸血検査研究班では研修会を 2 回、実技講習会を 2 回、講演会を 1 回行った。特に講演会は近年行うことができなかったが今回は盛大に開催できた。

- 1)【研修会】輸血検査研修会
日 時：平成 22 年 6 月 30 日 (木)
会 場：京都保健衛生専門学校
主 題：輸血検査、血液製剤取扱の基礎知識
講 師：万木 紀美子 氏 (京都大学医学部附属病院)
参加者：59(会員:53)人
- 2)【実技講習会】輸血検査実技講習会①
日 時：平成 21 年 7 月 3 日 (土)
会 場：京都保健衛生専門学校
主 題：輸血検査実技講習会①
講 師：多気 秀和 氏 (京都第一赤十字病院 検査部)
協 賛：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
協 賛：GTI ダイアグノスティックス株式会社

参加者：40(会員:32)人

3)【実技講習会】輸血検査実技講習会②

日 時：平成 21 年 7 月 31 日 (土)

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：輸血検査実技講習会①

講 師：万木 紀美子 氏 (京都大学医学部附属病院)

協 賛：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

協 賛：GTI ダイアグノスティックス株式会社

参加者：33(会員:33)人

4)【講演会】輸血検査講演会

日 時：平成 23 年 1 月 29 日 (土)

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：輸血検査講演会

演題 1: 輸血検査技師に求められるスキル

講師 1: 押田 眞知子 氏 (大阪大学医学部附属病院)

演題 2: 輸血後鉄過剰症の生化学値に関する報告

講師 2: 多気 秀和 氏 (京都第一赤十字病院)

演題 3: 輸血後鉄過剰による鉄毒性

講師 3: 堀池 重夫 氏 (京都府立医科大学附属病院 血液・腫瘍内科)

協 賛：ノバルティスファーマ株式会社

参加者：47(会員:39)人

5)【研修会】輸血検査研修会

日 時：平成 23 年 3 月 25 日 (金)

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：輸血検査研修会

演題 1: 第 26 回 京臨技輸血検査精度管理調査報告会

講師 1: 原 健介 氏 (亀岡市立病院)

演題 2: ABO 血液型の精査

講師 2: 井上 和子 氏 (京都桂病院)

参加者：16(会員:13)人

C. 血液検査研究班

<総括>

『今年度は血液講演会 3 回を実施した。昨年度に続き、Case Study を班員の施設から順次紹介して頂き、それを参加者全員で考えるということをして 2 回行った。血液の精度管理報告も行き、受講者に現状を把握してもらうことができた。また、講演内容は、協賛メーカーの協力のもと、最新の情報を得るために、他府県からも講師に来ていただき、非常に有意義な内容が受講できた。また、年間を通して、今年度も参加者が多く、主催者としては満足いく活動であった。』

1)【講演会】血液講演会

日 時：平成 22 年 6 月 26 日 (土) 14:00～17:00

会 場：キャンパスプラザ京都

主題 1: Case Study 10

講師 1: 中西 加代子 氏 (京都大学医学部附属病院)

主題 2: 血液疾患に対する造血幹細胞移植

講師 2: 初瀬 真弓(社会保険京都病院・内科医長)

参加者：45(会員:44)人

2)【講演会】血液講演会

日 時：平成 22 年 10 月 16 日 (土) 14:00～17:00

会 場：キャンパスプラザ京都

主題 1: Case Study 11

講師 1: 大川 洋毅 氏 (ファルコバイオシステムズ総合研究所)

主題 2: 小児血液腫瘍疾患の診断と治療
講師 2: 足立 壮一 氏 (京都大学大学院医学研究科教授)
参加者: 30(会員:27)人

3)【講演会】血液講演会

日 時: 平成 23 年 1 月 15 日 (土) 14:00~17:00
会 場: キャンパスプラザ京都
主題 1: 精度管理報告
講師 1: 土田 幸生 氏 (京都医療センター)
主題 2: 血球観察の基本事項および白血病症例と遺伝子異常について
講師 2: 坂東 史郎 氏 (公立大学法人 愛媛県立医療技術大学)
参加者: 40(会員:34)人

D. 臨床化学検査研究班

<総括>

目標としていた月に一度の研修会はほぼ実施することができた。また、実施日を月末の火曜日に固定したことで参加者にも認知されやすかったようで多数の参加をいただいた。次年度以降は現場ニーズに合う内容の研修会開催を目指して行きたい。

1)【研修会】臨床化学・免疫血清研修会

日 時: 平成 22 年 4 月 27 日 (火)
会 場: 京都保健衛生専門学校
主題 1: 糖尿病 概論
講師 1: 飯沼 一茂 氏 (アボットジャパン株式会社)
主題 2: HOMA-R, HOMA- β 、インスリン分泌指数について
講師 2: 斉藤 憲祐 氏 (株式会社堀場製作所)
参加者: 39(会員:29)人

2)【研修会】臨床化学・免疫血清研修会

日 時: 平成 22 年 5 月 31 日 (月)
会 場: 京都保健衛生専門学校
主 題: 慢性腎臓病(CKD)の基礎と透析患者データ
講 師: 藤本 一満 技師 (株式会社ファルコバイオシステムズ総合研究所)
主 題: 早期腎疾患マーカー シスタチン C について
講 師: 真鍋 祐樹 氏 (アルフレッサファーマ株式会社 診断薬営業推進部)
参加者: 41(会員:33)人

3)【研修会】臨床化学・免疫血清研修会

日 時: 平成 22 年 6 月 29 日 (土)
会 場: 京都保健衛生専門学校
主 題: 検査センタにおける緊急検査の流れ
講 師: 遠藤 升蔵(株式会社ファルコバイオシステムズ総合研究所)
主 題: 酸塩基平衡と血液ガスの基礎
講 師: 後藤 直樹 氏 (京都保健衛生専門学校)
主 題: 緊急検査で体験した事例①
講 師: 大塚 拓馬 氏 (堀川病院) 小紫 あゆみ 氏 (公立南丹病院 SRL 検査室)
和田 香織 氏 (第二岡本総合病院)
参加者: 38(会員:20)人

4)【実技研修会】臨床化学・免疫血清研修会

日 時: 平成 22 年 7 月 27 日 (火)
会 場: 京都保健衛生専門学校
主 題: 関節リウマチ検査の最新情報
(最近の治療方針・ガイドライン改訂とリウマチ関連マーカーの位置づけ)
講 師: 松本 美枝 氏 (積水メディカル株式会社)
主 題: 骨と骨代謝概論

講 師：三谷 公人 氏 (DS ファーマバイオメディカル株式会社)

参加者：30(会員:18)人

5)【講演会】臨床化学・免疫血清講演会

日 時：平成 21 年 9 月 5 日 (水)

会 場：京都大学医学部 人間健康科学科 第 9 講義室

主 題：第 2 回京都臨床化学サマー研修会 ～生化学検査基礎講座～

講師 1: 藤本 一満 氏 (ファルコバイオシステムズ総合研究所)

講師 2: 南部 昭 氏 (京都府立医科大学附属病院)

講師 3: 池本 正生 氏 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻)

講師 4: 金原 正子 氏 ((株)古環境研究所 奈良研究所) (ランチョンセミナー)

講師 5: 飯沼 一茂 氏 (アボットジャパン株式会社)

講師 6: 山下 章吾 氏 (アークレイ マーケティング株式会社)

講師 7: 足立 浩 氏 (アルフレッサ ファーマ株式会社)

講師 8: 山本 慶和 氏 (天理よろづ相談所病院 臨床病理部)

参加者：98(会員:97)人

6)【研修会】臨床化学・免疫血清研修会

日 時：平成 22 年 10 月 29 日 (金)

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：「生化学自動分析装置の変遷および分析パラメーターについて」

講師 1: 川中 士郎 氏 (日本電子株式会社 ME 営業本部)

講師 2: 古後 富久 氏 (日本電子株式会社 MED 応用研究グループ)

参加者：29(会員:21)人

7)【研修会】臨床化学・免疫血清研修会

日 時：平成 22 年 11 月 30 日 (火)

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：ドライケミストリーの基礎および精確性の確保

講 師：高吉 尚子 氏 (富士フイルムメディカル株式会社)

主 題：ABC検診で胃の健康度チェック

講 師：関根 和人 氏 (栄研化学株式会社)

参加者：21(会員:13)人

8)【講演会】臨床化学・免疫血清講演会

日 時：平成 22 年 12 月 21 日 (火)

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：汎用生化学自動分析装置 AU シリーズと最新機種 AU5800 のご紹介

講 師：細谷 幸雄 氏 (ベックマン・コールター株式会社 学術統括部)

主 題：臨床での体験事例①・②

講 師：①和田 香織 氏 (第二岡本総合病院) ②飯田 一博 氏 (株式会社いかかく)

参加者：13(会員:13)人

9)【研修会】臨床化学・免疫血清研修会

日 時：平成 23 年 1 月 25 日 (火)

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：慢性肝炎の経過観察と肝細胞癌の診療における血清マーカー
「ヒアルロン酸、AFP-L3 分画」の役割

講 師：西原 裕子 氏 (和光純薬株式会社 臨床検査薬営業本部 カスタマーサポート部)

主 題：定量試薬に関するバリデーションの活用方法

講 師：荒井 正治 氏 (和光純薬株式会社 臨床検査薬営業本部 カスタマーサポート部)

参加者：14(会員:14)人

10)【講演会】臨床化学・免疫血清講演会

日 時：平成 23 年 2 月 22 日 (土)

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：「結核の基礎について」

講 師：河尻 克秀 氏（日本ビーシージー製造株式会社 学術部長）
主 題：「結核感染診断薬クオンティフェロン TB ゴールドについて」
講 師：河尻 克秀 氏（日本ビーシージー製造株式会社 学術部長）
参加者：57(会員:47)人

11)【実技講習会】臨床化学・免疫血清実技講習会

日 時：平成23年3月13日（日）
会 場：京都保健衛生専門学校
主 題：京都臨床化学実技研修会(第2回みやこ研修会)
講師1：藤本 一満 氏（ファルコバイオシステムズ総合研究所）
講師2：南部 昭 氏（京都府立医科大学付属病院）
講師3：山本 慶和 氏（天理よろづ相談所病院 臨床病理部）
講師4：中島 康仁 氏（松下記念病院）
講師5：松原 卓也 氏（ファルコバイオシステムズ総合研究所）
講師6：後藤 直樹 氏（京都保健衛生専門学校）
参加者：39(会員:30)人

E. 病理検査研究班

<総括>

『本年度は他府県との合同講演会を開いた。研修会の回数は少なかったがいずれも内容自体は興味深く、良い研修会であったと考えている。来年度以降も会員の知識、技術の向上ができるようなものを開催していきたい。』

1)【研修会】細胞診ワークショップ

日 時：平成22年6月5日（土）13:00～17:00
会 場：京都保健衛生専門学校 実習室
主 題1：液状処理細胞診システムのご紹介
講 師：大杉 増美 氏（日本BD・ダイアグノスティックシステム事業部）
主 題2：ベセスダシステムの運用について
講 師：田路 英作 氏（大阪がん予防検診センター検査科）
共 催：日本臨床細胞学会 京都府支部検査士部会
協 賛：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
参加者：28(非会員:9)人

2)【講演会】病理分野講演会(7府県合同)

日 時：平成22年8月28日（土）13:30～17:00
会 場：京都テルサ 第2,3セミナー室
主 題1：オートプシーイメージングと死後画像
副 題1：京都市立病院と京大病院での経験
講 師：山本 憲 医師（京都大学医学部附属病院 放射線診断科）
主 題2：新たな悪性腫瘍の治療方針のスクリーニングに有用な病理組織・細胞診材料の免疫染色の標準化
講 師：谷 洋一 技師（株式会社パソロジー研究所 バイオエスジェイ）
主 題3：パニコロウ染色の精度管理
講 師：今村 真治 技師（大津赤十字病院 検査部）
主 題4：HE染色の精度管理
講 師：川村 敏文 技師（京都府立医科大学 病理学教室）
主 題5：免疫染色の精度管理
講 師：柳田 絵美衣 技師（神戸大学医学部附属病院 病理部）
参加者：102(非会員:1、京臨技会員:22)人

3)【研修会】細胞分野研修会

日 時：平成22年10月9日（土）14:00～17:00
会 場：京都府立医科大学 南臨床講義棟
主 題1：細胞診スライド模擬試験 前半

講 師：江口 光徳 技師（宇治徳洲会病院）

主 題 2：細胞診スライド模擬試験 後半

講 師：小山 賢 技師（京都桂病院）

参加者：19(非会員:3)人

4)【研修会】細胞分野研修会

日 時：平成 23 年 1 月 22 日（土）14:00～17:00

会 場：京都府立医科大学 南臨床講義棟

主 題 1：分子標的治療におけるバイオマーカー

講 師：柿本 篤志 氏（株エスアールエル遺伝子染色体解析センター特殊遺伝子課）

主 題 2：免疫染色コンペ報告、解説

講 師：三宅 秀一 技師（京都市立病院）

参加者：25(賛助会員 3、非会員 1)人

F. 一般検査研究班

<総括>

『一般検査従事者から認定一般検査技師まで幅広く参加できる研修会を開催することが出来た』平成 22 年度は、基礎的な内容の研修会を実施して、一般検査業務に就く会員の知識の向上に寄与することが出来たと思われる。一方、認定一般検査技師のための資格更新に必要な「日臨技認定センター承認研修会」を臨床一般検査研究会と共催することが出来た。また、精度管理事業でも一般検査領域で遭遇する基本的な成分の形態を啓発できたと思われる。

1)【研修会】一般検査研修会 1

日 時：平成 22 年 6 月 5 日（木）

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 研修会

講 師 1：櫻井 大路 氏（シーメンズヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
マーケティング部）

講 師 2：山路 順子 技師（京都大学医学部附属病院 検査部）

講 師 3：中野 幸弘 技師（宝塚市民病院 中央検査室）

参加者：39 人

2)【研修会】一般検査研修会 2

日 時：平成 22 年 7 月 10 日（日）

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 研修会

講 師 1：宇野 良美 技師（医療法人 林病院）

講 師 2：佐伯 仁志 技師（NHO 京都医療センター）

参加者：26 人

3)【研修会】一般検査研修会 3

日 時：平成 22 年 7 月 31 日（日）

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 研修会

講 師 1：寺西 広樹 技師（市立岸和田市民病院）

講 師 2：佐伯 仁志 技師（NHO 京都医療センター）

参加者：32 人

4)【実技講習会】一般検査実技講習会

日 時：平成 22 年 9 月 25 日（日）

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：京阪神尿沈渣実習 with 穿刺液

講 師 1：佐伯 仁志 技師（NHO 京都医療センター）

講 師 2：石川 正美 技師（社会保険神戸中央病院）

講 師 3：堀田 真希 技師（大阪大学医学部附属病院）

共 催：大阪府臨床検査技師会一般検査部会

共 催：兵庫県臨床検査技師会一般検査研究

共 催：富士レビオ

参加者：60人

5)【実技講習会】一般検査実技講習会

日 時：平成22年10月9日(日)～10日(月)

会 場：京都大学医学部人間健康科学科棟、京都保健衛生専門学校

主 題：第8回スキルアップ講習会

講 師1：山本 明美 技師(豊橋市民病院)

講 師2：森 合美 技師(東芝林間病院)

講 師3：堀田 真希 技師(大阪大学医学部附属病院)

講 師4：深津 敦司 先生(京都大学医学部附属病院 腎臓内科)

講 師5：田中 佳 技師(金沢医科大学病院)

講 師6：佐伯 仁志 技師(NHO 京都医療センター)

講 師7：稲垣 清剛 技師(安城更生病院)

講 師8：野崎 司 技師(東海大学医学部・大磯病院)

講 師9：宇賀 昭二 先生(神戸大学大学院保健学研究科寄生虫学)

共 催：臨床一般検査研究会

共 催：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

共 催：栄研化学株式会社

共 催：シスメックス株式会社

参加者：117人

G. 微生物検査研究班

<総括>

『一昨年度の微生物検査基礎研修会の開催を発展させ、感染症診断に貢献できる技師を目指し、研修内容をレベルアップし実践に即した知識と技術を習得できる研修会、実技講習会を企画した。一定の水準で研修会を開催することができ、基礎的な面と臨床的な面について知識や実技が習得できた。しかし、微生物検査の知識、技術は一朝一夕に身に付くものではなく、また、京都府内の微生物担当者も比較的若い層に変化しつつあることもあり、今後も継続した活動が必要と考えられた。微生物の領域は、日々進化しており、また、新たな感染症や耐性菌の出現もあり、新鮮なその時々話題も踏まえた内容で開催する必要性も感じられた。来年度の課題とした。』

1)【研修会】微生物研修会

日 時：平成22年5月20日(月)19:00～20:30

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚室

主 題：細菌の分離培養と薬剤耐性について

ーバンコマイシン耐性腸球菌を中心にー

講 師：久保 亮一 氏(関東化学(株) ライフサイエンス部マイクロバイオ部)

参加者：16人

2)【研修会】微生物研修会

日 時：平成22年10月15日(火)19:00～20:30

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：院内感染対策に役立つ集計の方法

講 師1：山田 幸司 先生(京都府立医科大学附属病院)

講 師2：河合 示枝古 先生(株式会社 いかがか)

参加者：15人

3)【研修会】微生物研修会

日 時：平成22年10月22日(土)19:00～20:30

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：感染症診療と検査(尿路感染)

講 師：小野 保 先生(京都第二赤十字病院)

参加者：18人

4)【研修会】微生物研修会

日時：平成22年11月4日（金）19:00～20:30

会場：京都保健衛生専門学校

主題：感染症診療と検査（血流感染）重要性と迅速性を中心に

講師：小森 敏明 先生（京都府立医科大学附属病院）

参加者：21人

5)【研修会】微生物研修会

日時：平成22年11月11日（金）19:00～20:30

会場：京都保健衛生専門学校

主題：感染症診療と検査（消化管感染）

講師：古川 弘 先生（(株)日本医学臨床検査研究所）

参加者：18人

6)【研修会】微生物研修会

日時：平成22年11月18日（金）19:00～20:30

会場：京都保健衛生専門学校

主題：感染症診療と検査（呼吸器感染）、検体の品質管理、グラム染色所見

講師：林 彰彦 先生（京都市立病院）

参加者：19人

7)【研修会】微生物研修会

日時：平成22年11月27日（日）14:00～17:00

会場：京都大学附属病院 検査部（人数により調整）

主題：抗菌剤の基礎と耐性菌

講師1：樋口 武史 先生（京都大学医学部附属病院）

講師2：田中 裕人 先生（ファルコバイオシステムズ総合研究所）

講師3：成田 弓子 先生（国立病院機構 京都医療センター）

講師4：加藤 貴代子 先生（ファルコバイオシステムズ総合研究所）

参加者：12人

8)【実技研修会】微生物実技研修会

日時：平成22年12月18日（日）14:00～17:00

会場：京都保健衛生専門学校 実習室

主題：感染症診療と検査（グラム染色標本の観察ポイント教えます！）

講師1：棚村 一彦 先生（洛和会音羽病院）

講師2：足立 睦宏 先生（(株)日本医学臨床検査研究所）

講師3：高橋 裕治 先生（株式会社 いかがく）

参加者：18人

9)【研修会】微生物研修会

日時：平成23年2月17日（木）19:00～20:30

会場：京都保健衛生専門学校

主題：肺炎と尿中抗原迅速検査 尿中抗原検出キット Binax NOW レジオネラ・肺炎球菌

講師：原 哲郎 先生（インバネス・メディカル・ジャパン(株)学術サポート室）

参加者：24人

10)【実技研修会】微生物実技研修会

日時：平成23年3月5日（金）15:00～18:30

会場：京都府立医科大学基礎医学学舎

主題：最近話題の寄生虫症

講師：山田 稔 先生（京都府立医科大学寄生病態学教室）

参加者：23人

H. 情報システム研究班

<総括>

例年、私立病院協会から依頼を受けて、京臨技情報システム分野としてパソコン講座への講師派遣を行ってきており、今年度も2010年7月22日と10月21日の2回の講師を派遣した。講習会の内容はそれぞれ Microsoft Excel と Microsoft PowerPoint の基礎的な使い方であった。情報システム分野の活動の柱である毎週の京臨技ホームページ更新とメールマガジン発行、毎月の会員配布用行事予定表の作成も継続して行い、会員への迅速な研修会情報や最新の医学的話題を発信すべく努力した。

I. 北部学術研究班

<総括>

最近の話題や興味のある内容など参加しやすい研修会を企画し、各分野を網羅しながら、年間を通じて11回の研修会と講演会を開催することができた。また、第21回北部学術発表会を開催した。

1)【研修会】北部学術研究班 輸血研修会

日 時: 平成22年5月25日(火) 19:00~21:00
 会 場: 舞鶴市林業センター(西支所)
 主 題: 血液型検査における問題解決の KNOW-HOW
 講 師: 小黒 博之 氏 (バイオ・ラッド・ラボラトリーズ株式会社)
 参加者: 39(会員:35)人

2)【研修会】北部学術研究班 第8回京都北部CDEの会

日 時: 平成22年6月19日(土) 14:00~17:35
 会 場: 舞鶴医療センター内 地域医療研修センター
 主 題1: 肝臓疾患を持つ糖尿病患者の検査の見方
 講 師1: 田中 久晴 氏 (済生会和歌山病院 臨床検査部)
 主 題2: 肝臓疾患を持つ糖尿病患者への支援の実際
 講 師2: 岩崎 裕美 氏 (彦根市立病院 看護部)
 主 題3: 肝臓疾患を持つ糖尿病患者への栄養指導の実際
 講 師3: 北爪 綾子 氏 (京都大学医学部附属病院 管理栄養室)
 主 題4: 糖尿病と肝臓疾患
 講 師4: 藤田 義人 氏 (京都大学医学部附属病院 糖尿病・栄養内科学 助教)
 参加者: 59(会員:7)人

3)【研修会】北部学術研究班 輸血研修会

日 時: 平成22年6月22日(火) 19:00~21:00
 会 場: 舞鶴市林業センター(西支所)
 主 題: 不規則抗体検査における問題解決の KNOW-HOW
 講 師: 小黒 博之 氏 (バイオ・ラッド・ラボラトリーズ株式会社)
 参加者: 25(会員:23)人

4)【研修会】北部学術研究班 一般研修会

日 時: 平成22年7月23日(金) 19:00~20:00
 会 場: 西舞鶴交流センター(西舞鶴駅)
 主 題: 各種診療ガイドラインから読み取る臨床側の要求する尿検査
 講 師: 宮前 栄治 氏 (シスメックス株式会社 学術情報課)
 参加者: 18(会員:17)人

5)【研修会】北部学術研究班 臨床化学研修会

日 時: 平成22年8月10日(火) 19:00~20:30
 会 場: 西舞鶴交流センター(西舞鶴駅)
 主 題: 血液ガスってどうみるの?
 講 師: 三沢 泰一 氏 (ラジオメーター株式会社)
 参加者: 23(会員:22)人

6)【講演会】北部学術研究班 血清研修会

日 時: 平成22年9月10日(金) 18:30~20:30
 会 場: 舞鶴市林業センター(西支所)

- 主 題 1: TDM について
 講 師 1: 金田 幸枝 氏 (積水メディカル学術グループ)
 主 題 2: ウィルス抗体 EIA について
 講 師 2: 中村 将人 氏 (デンカ生研学術課課長)
 主 題 3: 自己免疫疾患と自己抗体検査(抗核抗体を中心に)
 講 師 3: 西尾 智康 氏 (医学生物学研究所診断薬事業部)
 主 題 4: KL-6について
 講 師 4: 岡田 夏樹 氏 (三光純薬 学術部)
 参加者: 13(会員:13)人
- 7)【研修会】北部学術研究班 生理研修会
 日 時: 平成 22 年 10 月 29 日 (金) 19:00~20:30
 会 場: 綾部市立病院東館2階講堂(綾部市)
 主 題: 心電図~初心者から中級者へのステップアップ
 講 師: 柄本 敦典 氏 (フクダ電子株式会社研修教育センター)
 参加者: 20(会員:20)人
- 8)【研修会】北部学術研究班 臨床化学研修会
 日 時: 平成 22 年 11 月 25 日 (木) 19:00~20:30
 会 場: 福知山市民病院 第 2 会議室
 主 題: 臨床化学:検査結果の見方・考え方
 講 師: 阿部 雅仁 氏 (栄研化学株式会社 市場対策室)
 参加者: 21(会員:20)人
- 9)【研修会】北部学術研究班 生理研修会
 日 時: 平成 22 年 12 月 2 日 (木) 19:00~20:30
 会 場: 綾部市立病院東館2階講堂(綾部市)
 主 題: 基礎から学ぶペースメーカー
 講 師: 大森 那央 氏 (フクダ電子京滋販売株式会社)
 参加者: 21(会員:20)人
- 10)【研修会】北部学術研究班 血液研修会
 日 時: 平成 23 年 1 月 14 日 (金) 19:00~20:00
 会 場: 西舞鶴交流センター(西舞鶴駅)
 主 題: 血液分析装置とサイトグラム
 講 師: 池田 尚隆 氏 (シーメンスヘルスケアダイアグノスティクス株式会社)
 参加者: 8(会員:8)人
- 11)【講演会】北部学術研究班 一般講演会
 日 時: 平成 22 年 2 月 19 日 (土) 14:00~17:00
 会 場: 綾部市立病院東館2階講堂(綾部市)
 主 題 1: XE-5000 による髄液細胞数測定の自動化
 —UF-100 で実証された自動化の可能性—
 講 師 1: 山西 八郎 氏 (大阪大学医学部附属病院 医療技術部)
 主 題 2: 体腔液に見られる細胞の見方・考え方、及びそのポイント
 —ギムザ染色を中心に—
 講 師 2: 西 国広 氏 (株式会社エスアールエル 学術顧問)
 参加者: 31(会員:29)人
- 12)【研修会】北部学術研究班 第9回京都北部CDEの会
 日 時: 平成 22 年 3 月 5 日 (土) 14:00~17:35
 会 場: 舞鶴医療センター内 地域医療研修センター
 主 題: 糖尿病劇場~京都版~
 講 師: 岡田 浩 氏 (京都医療センター 臨床研究センター 予防医学研究所)
 参加者: 41(会員:5)人

J. チーム医療

<総括>

『糖尿病』

例年通り京都 CDE の会、京都北部 CDE の会と共催にて「糖尿病劇場」を 2 回行った。「糖尿病劇場」とは、糖尿病診療風景をモチーフにした寸劇とその後の討議を組み合わせた参加型の研修で、参加者が日頃の療養指導のあり方を振り返るきっかけとなる研修であった。その他に京都府糖尿病対策推進講習会も 4 回開催され、糖尿病の新しい診断基準や新しい糖尿病治療薬等に関する講演が行われた。

『NST』

講演会を 1 回企画した。検査試薬メーカーと栄養剤メーカーに講演していただき、検査試薬メーカーからは検査とNSTの関わりについて、栄養剤メーカーからは栄養療法を具体的な症例をあげて講演を頂いた。

『管理運営』

講演会を 1 回企画した。熊本大学で取り組まれている券売機を使い健診を手軽に受けて頂ける「検査カフェ」の導入効果について講演を頂いた。

1)【講演会】糖尿病療養指導士講演会(平成 22 年度京都府糖尿病対策推進講習会)

①日 時：平成 22 年 10 月 2 日(土) 14:00~17:15

会 場：CIK ビル(京田辺市)

講 師：土井 邦紘 氏(土井内科医院 院長)

講 師：小出 操子 氏(小出医院 院長)

講 師：大倉 瑞代 氏(京大病院 看護師)

講 師：小山 裕之 氏(みやこ薬局 薬剤師)

講 師：木村 美枝子 氏(京都府栄養士会)

講 師：杉 典子 氏(洛和会音羽病院京都口腔健康センター医長)

参加者：2 人

②日 時：平成 22 年 12 月 5 日(土) 14:00~17:15

会 場：京都府医師会館(JR 二条駅前新会館)

講 師：稲垣 暢也 氏(京都大学教授)

講 師：鍵本 伸二 氏(かぎもとクリニック院長)

講 師：小林 美保 氏(南京都病院 看護師)

講 師：小山 裕之 氏(みやこ薬局 薬剤師)

講 師：幣 憲一郎 氏(京大病院 管理栄養士)

講 師：堀 智範 氏(京都第一赤十字病院歯科口腔外科部長)

参加者：5 人

③日 時：平成 22 年 12 月 11 日(土) 14:00~17:15

会 場：宮津市中央公民館(宮津市)

講 師：畑 雅之 氏(畑内科医院 院長)

講 師：肥後 直子 氏(京都府立医科大学 看護師)

講 師：小山 裕之 氏(みやこ薬局 薬剤師)

講 師：竹村 智子 氏(綾部市立病院 管理栄養士)

講 師：堀 信介 氏(京丹後市立久美浜病院歯科口腔外科部長)

参加者：1 人

④日 時：平成 23 年 1 月 8 日(土) 14:00~17:15

会 場：サンプラザ万助(福知山市)

講 師：中村 直登 氏(京都府立医科大学 教授)

講 師：和田 成雄 氏(和田内科医院 院長)

講 師：肥後 直子 氏(京都府立医科大学 看護師)

講 師：小山 裕之 氏(みやこ薬局 薬剤師)

講 師：菅野 美和子 氏(京大病院 管理栄養士)

講 師：木村 功 氏(公立南丹病院歯科口腔外科医長)

参加者：2 人

2)【講演会】糖尿病療養指導士講演会(第 10 回京都 CDE の会 講習会)

日 時：平成 22 年 10 月 30 日（土）13:45～17:10

会 場：キャンパスプラザ京都 第 2 講義室

主 題：糖尿病劇場 ～京都版～

ファシリテーター：京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室 岡田浩先生

第 1 部：まんじゅうが大好きな患者さん

第 2 部：がんばりすぎる患者さん

参加者：114(会員:10)人

3)【講演会】糖尿病療養指導士講演会(第 9 回京都北部 CDE の会 講習会)

日 時：平成 23 年 3 月 5 日（土）14:00～17:35

会 場：舞鶴医療センター内 地域医療研修センター

主 題：糖尿病劇場 ～京都版～

ファシリテーター：京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室 岡田浩先生

第 1 部：まんじゅうが大好きな患者さん

第 2 部：がんばりすぎる患者さん

参加者：5 人

4)【講演会】チーム医療(管理運営・NST)講演会

日 時：平成 23 年 2 月 19 日（土）14:00～17:00

会 場：メルパルク京都

主 題：『新たな検査システム『検査カフェ』の導入の いきさつと その波及効果』

講 師：安東 由喜雄 氏（熊本大学医学部 病態情報解析学 教授）

主 題：NSTと臨床検査

講 師：西原 裕子 氏（和光純薬工業株式会社）

主 題：慢性閉塞性肺疾患(COPD)の栄養療法

講 師：粕谷 正 氏（アボットジャパン(株)）

参加者：35(会員:24)人

2-2 第 45 回京都病院学会

6 月 13 日に京都府医師会館、京都市立看護短期大学で開催された。テーマ「脳卒中の地域連携」に関する基調講演と演題発表ならびにシンポジウムがあった。特別講演は、千宗守氏に「茶は薬用よりはじまる」と題してご講演頂いた。発表演題数は 417 題、参加者は 1,889 名であった。

事業名：第 45 回京都病院学会

日 時：平成 22 年 6 月 13 日(日)

会 場：京都府医師会館、京都市立看護短期大学

テーマ：脳卒中の地域連携

基調講演 1：宮本 亨 氏（京都大学大学院医学研究科医学専攻 脳病態生理学講座 脳神経外科学教授）

基調講演 2：市田 哲郎 氏（市田医院 院長）

特別講演：千 宗守 氏（武者小路千家 14 代家元）「茶は薬用よりはじまる」

参加数：1,889 名

演題数：417 題

派 遣：京臨技より実行委員 1 名、実務委員 3 名

2-3 第 12 回新入・転入会員研修会

今年度で 12 回目となる新入・転入会員研修会を 9 月 2 日(木)午後 6 時 30 分より、ホテル京阪京都で開催した。本年度から、会員が参加しやすいように交通の便がよい本会場に変更し、例年以上の 57 名(新入・転入会員は 26 名)の参加をいただき、盛況な研修会となった。

事業名：新入・転入会員研修会

日 時：平成 22 年 9 月 2 日(木) 16:30～21:00

会 場：ホテル京阪京都

参加者：57(新入会員:26)人

2-4 第 21 回京臨技北部学術発表会

第 21 回京臨技北部学術発表会を平成 23 年 1 月 29 日(土)に綾部市I・Tビルにて開催いたしました。市民公開講座は「iPS細胞研究の最前線～その成り立ちと臨床応用への取り組み～」と題し、櫻井英俊先生にご講演していただいた。また特別講演では「心が輝けば、人生も輝く」と題し小薮実英氏にご講演いただいた。YIA分部門を含み一般演題は8題であった。

事業名：京臨技北部学術発表会

日 時：平成 23 年 1 月 29 日(土)

場 所：綾部市I・Tビル

主 題：一般演題発表、市民公開講座、特別公開

講 師：櫻井 英彦 氏(京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA))

講 師：小薮 実英 氏

参加者：93(技師:55、仮会員:1、非会員:3、賛助会員:19、一般:15)人

2-5 京都府医師会・京都府臨床検査技師会合同研修会

第 24 回京都府医師会・京都府臨床検査技師会合同学術研修会

今回は『結核病』をテーマに、結核検査と診断・治療において検査技師の立場と臨床医の立場よりそれぞれご講演を頂きました。

講演内容は、①採痰指導の目的と意義患者の病態を反映した菌検査を行い、正確な成績を臨床側に提供し、適切な診断・治療を実施してもらうことを目的とし、そのためには検査時だけ(無理やり)採痰すればよいのではなく、患者に採痰指導の意義を説明し、継続できるように努力させることにより、呼吸の改善、病巣内の菌数の減少につながることを理解させる。②迅速な結核検査の進め方には喀痰などの検体を塗抹検査に提出し、塗抹検査で抗酸菌陽性と判明したなら直ちに核酸増幅検査で結核菌か非結核性抗酸菌かを鑑別する。塗抹検査が陽性検体をもちろん陰性検体も液体培地で培養検査を行う。培養陽性なら遺伝子検査か抗原検査で菌種を同定する。培養陰性なら真の陰性と判断する。次に、培養された結核菌について薬剤感受性検査を行う。③感染症法による結核の入院勧告の基準は、喀痰で抗酸菌(結核菌)塗抹陽性、または喀痰で抗酸菌(結核菌)塗抹陰性だが、喀痰以外(胃液や気管支鏡検体)で塗抹陽性、培養または核酸増幅検査陽性であり、感染防止対策的な視点や臨床的な視点から入院が必要と認めたもので、標準的な結核治療法は、イソニアジドとリファンピシンを 6 ヶ月、エタンブトールとピラジナミドを 2 ヶ月の併用。④結核感染のリスクの高い医療行為は、結核菌飛沫核を吸引しやすい医療行為であり、具体的には、不十分な感染防御下での気管支内視鏡、呼吸機能検査、喀痰の誘発・吸引、検査室での結核菌検査、病理解剖などがある。⑤わが国の抱える問題は、多剤耐性結核菌、超多剤耐性結核菌の増加と高病原性結核菌北京型株の脅威である。この合同研修会にはいつも医師会の先生が多数参加される。担当されている患者の今後の検査や治療方針などについて熱心な質問が多く、盛況であった。

日 時：平成 22 年 7 月 3 日(土) 15:00～17:00

場 所：メルパルク京都

演題 1：「結核検査における精度管理・採痰から検査まで」

演者 1：樋口 武史 技師(京都大学医学部附属病院 検査部)

演題 2：「結核病の診断と臨床・最近の知見を踏まえて」

演者 2：一山 智 教授(京都大学医学部附属病院 副院長

病院検査部・感染制御部 部長 臨床病態検査学 教授)

共 催：京都府医師会、ロシュ・ダイアグノスティックス㈱

参加者：84人(会員:33、他府県会員:9、医師会会員:42、非会員:0)人

2-6第6回施設責任者会議(ランチョンセミナー)

未曾有の大地震とそれに伴う津波大きな被害をもたらした東日本大震災。その翌日であったが中止することなく無事開催できた。今年で第6回を迎える今回は第一部では来年度・再来年度に予定されている組織改変の説明をさせていただく機会の1つとした。第二部では管理者の皆様に参加していただけるような講演にしたいと考え、病院の運営コンサルティングを手がけておられるシスメックス株式会社学術情報認証部サポートセンターの北川隆氏に「検査室の経営管理の改

善に向けて」と題して講演をしていただいた。フリートークでは参加会員より京臨技への要望なども出していただき、非常に有意義な会となった。今回はランチョンセミナーでの開催とし出欠確認もしっかりできたことが参加者増に繋がり、また精度管理合同報告会への誘導にも成果があった。

日 時：平成23年3月12日（土）12:00～14:00
 場 所：京都府立医科大学 基礎医学学舎
 主 題1：京臨技より組織改変に伴うご案内
 講 師1：小澤 優 氏（京都府臨床検査技師会 副会長）
 主 題2：「検査室の経営管理の改善に向けて」
 講 師2：北川 隆 氏（シスメックス株式会社 学術情報認証部サポートセンター）
 分 類：13 管理運営 カリキュラム：基礎-006管理運営20点
 共 催：シスメックス株式会社 講師派遣
 参加者：42(会員:39、仮会員:0、非会員:0、賛助会員:3)人

3. 精度管理事業

3-1 第26回精度管理調査

今年度も日臨技のデータ共有化事業を兼ね実施した。昨年度から有料化となり減少していた参加施設数も今回は増加し、また、非会員施設の参加もみられた。一部にデータ入力ミスがあり、関係施設には大変な迷惑をかけてしまった。今後は再発防止にむけ精度管理委員会で十分に意見交換をして実施していく。

事業名：第26回精度管理調査
 期 間：平成22年10月21日～11月12日
 参加数：74施設

3-2 第3回精度管理合同報告会

今回で3回目となったが、今年度は施設責任者連絡会議に引き続いての開催のため参加者は大幅に増加し施設責任者も多く参加され合同報告会本来の姿となった。精度管理にふさわしい問題、予想される正解率、教育的問題など多くの問題についてディスカッションされた。

事業名：第3回精度管理合同報告会
 日 時：平成23年3月12日(土)
 会 場：京都府立医科大学 基礎医学学舎
 講 師：各研究班精度管理委員
 参加者：会員54人 賛助会員10人

3-3 京都府・京都市 登録衛生検査所精度管理事業委員会

3月16日(水)京都市の衛生検査所立ち入り調査に同行した。

4. 広報活動

事業活動の迅速な広報に努めた。会誌1回、会報5回(No.37～No.41)を発行した。

《会誌》

京臨技会誌 2010. vol.37 No.1『総会・近畿学会記念合併号』(平成22年9月発行)

<Contents>

平成22年度定期総会特集

総会議事録、総会報告、議案書(第1号議案～第6号議案)、第49回近畿学会特別会計名簿(平成22年度役員名簿、理事任務分担表、研究班名簿、平成22年度賛助会員名簿)

平成21年度京臨技会報(バックナンバー)

第49回近畿医学検査学会特集

《会報》

会報 No.36(平成22年5月1日号)

- ・平成22年度京臨技総会のご案内
- ・生活習慣病予防啓発事業

- ・第 49 回近畿医学検査学会 学会長賞・学術奨励賞
 - ・第 20 回京臨技北部学術発表会
 - ・第 5 回近臨技医療フォーラム
 - ・理事会議事録(第 8 回、第 9 回、第 10 回)
- 会報 No.37(平成 22 年 7 月 1 日号)
- ・平成 22 年度・23 年度 新執行部体制でスタート
 - ・会長再任・新役員のごあいさつ
 - ・OB 会主催講演会「苔から見える植物という生き方」
 - ・理事会議事録(第 11 回、第 12 回、第 1 回)
 - ・平成 22 年度・23 年度 理事・監事、班長名簿
- 会報 No.38(平成 22 年 9 月 1 日号)
- ・お知らせ
 - ・京都府医師会・京都府臨床検査技師協会 合同学術研修会
 - ・理事会議事録(第 2 回、第 3 回)
 - ・会費納入方法の変更・「臨床検査技師賠償責任保険全員」加入
- 会報 No.39(平成 21 年 12 月 1 日号)
- ・京臨技会費の納入方法について
 - ・京都府医療推進協議会イベント
 - ・第 13 回新入・転入研修会
 - ・乳癌撲滅キャンペーン
 - ・くらしと健康展
 - ・理事会議事録(第 4 回、第 5 回、第 6 回)
- 会報 No.40(平成 23 年 2 月 1 日号)
- ・昨年度の優秀発表を表彰
 - ・宇多野病院臨床検査科訪問
 - ・理事会議事録(第 7 回)
- 会報 No.41(平成 23 年 4 月 1 日号)
- ・第 21 回京臨技北部学術発表会
 - ・iPS 細胞研究の最前線
 - ・理事会議事録(第 8 回、第 9 回、第 10 回)
 - ・第 6 回施設責任者会議
 - ・第 26 回 京臨技精度管理調査合同報告会
 - ・子宮の日啓発活動のご案内

5. 総務事業

平成 22 年度の会員総数は、965 名(平成 23 年 3 月現在)であった。今年度は京臨技、日臨技ともに法人移行準備期間であり、会員への連絡・周知事項が多数発生した。情報の混乱などもあり会員にご迷惑をかけた面もあった。来年度は京臨技として都道府県技師会のありかたを会員の意見を集約しつつ再確認していきたい。

5-1 定期総会

5月29日(土)に京都保健衛生専門学校において平成22年度京臨技総会が開催され、OB会主催講演会「苔から見える植物という生き方」京都大学大学院生命科学研究科助教石崎公備先生の公演を行った事業報告や事業計画、決算報告や予算案のほか、今井会長の再任などの役員人事が承認された。

事業名：平成 22 年度京臨技総会

日 時：平成 22 年 5 月 29 日(土)

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

参加数：出席 558(内委任状 518)

6. 京都私立病院協会員内感染対策推進事業